

『鍼灸マッサージ師会があすばる大崎で奉仕活動』

9月11日(日),(社)鹿児島県鍼灸マッサージ師会がボランティアで、マッサージ・灸治療などの奉仕活動をあすばる大崎で実施しました。

当会は県内のはり師、きゅう師、あんま、マッサージ、指圧師により構成され、この活動は、県内各地で年1回実施されています。県民の保健衛生の維持向上や普及啓発活動の一環で行われており、マッサージ師同志の交流の場にもなっているようです。

当日参加したマッサージ師は23人。治療を受けた方は123人で、みなさんにはたいへん喜ばれたようです。



『下水道の日に伴う美化作業を実施』

9月14日(水)、大崎町下水道連絡協議会の会員(27社)など約40人が、大崎クリーンセンター敷地内の除草作業と未利用地のコスモスの手入れおよびそばの種まきを行いました。

この活動は、『下水道の日(9月10日)』にちなんで行われたもので、下水道事業への理解と処理場のイメージアップを図ることを目的に実施されました。参加者は美化作業などが終わったあと、松山町にある大隅衛生企業(株)松山有機工場を視察し、下水道汚泥が堆肥として生まれ変わる過程の説明を受けました。

会長の萩原洋一さんは「きれいな川を取り戻し、子ども達へ引き継いでいきたい。」と話されました。



『シルバー人材センター会員が剪定ボランティアを実施』

大崎町シルバー人材センターの剪定班会員が、大丸小学校(9月10日)と大崎小学校(9月24日)の敷地内の樹木剪定ボランティアを行いました。

10月はシルバー人材センターの普及啓発促進月間となっており、これに合わせて行われたもので、毎年、町内の小中学校の剪定などを行っています。

参加された会員の方々は「児童のみなさんには、楽しい秋の大運動会を迎えてほしい。」と話されていました。



『本町出身の和田譲治騎手が役場を訪問』

9月26日(月)、本町出身で現在、大井競馬場(東京都)を中心に競馬騎手として活躍している和田譲治さん(21歳、身長164cm、体重48kg)が、大崎町役場を訪れました。

和田さんは大崎中学校を卒業後、栃木県にある地方競馬教養センターの騎手課程で、馬術の基本や競走の騎乗技術などを2年間学んだ後、競馬騎手として活躍し、今年で4年目になります。

和田さんは「現在、東京都の大田区で1人暮らしをしています。毎日午前3時から午前8時半まで馬の調教などを行い、レースに出場するのは、月の3分の1程度です。私の目標は、JRA(日本中央競馬)で走ることです。また、大崎町のために何らかの形で貢献できればと思っています。これからもがんばりますので、応援をよろしくお願いいたします。」と話してくださいました。

